

## ～福祉型バス『ふれあい号』を購入いたしました。～

村では、近年のユニバーサルデザインへの需要の高まりを受けて、誰もが安心して暮らせる地域コミュニティを目指し、宝くじ助成事業において福祉型バス「ふれあい号」を配備しました。

障害を持つ方や車椅子利用者など体に特性を持つ方々にもこのバスを積極的にご活用いただくことで、人と人の新しいつながりが生まれるような地域コミュニティの形成を目指していきます。バスの活用については下記までお問い合わせください。

- ・事業主体 財団法人自治総合センター
- ・事業名 宝くじ助成金 コミュニティ助成事業  
(共生の地域づくり事業)
- ・バスの仕様 型式：三菱小型バスローザ  
乗車定員：26人（うち車椅子2脚）  
主要装備：車椅子乗降リフト、手すり、電動ステップ等
- ・問い合わせ先 中央公民館 TEL53-2258



■車椅子リフト可動風景



■全 景

宝くじ事業は多くの皆様のために役立っています。

## 時代とともに

---

昭和20年10月にうぶ声をあげた宝くじは、戦後の新生日本とともに歩み、人々の暮らしの変化に合わせ、様々な歴史を積み重ねてきました。宝くじの最高賞金額は大幅に上昇し、数字選択式宝くじやスクラッチなど多様な宝くじが登場しています。

また、社会貢献のあり方も、時代のニーズに合わせ変化しています。平成23年の東日本大震災においては地域復興にはたす宝くじの役割があらためて注目されました。

## 収益金は、公共のために

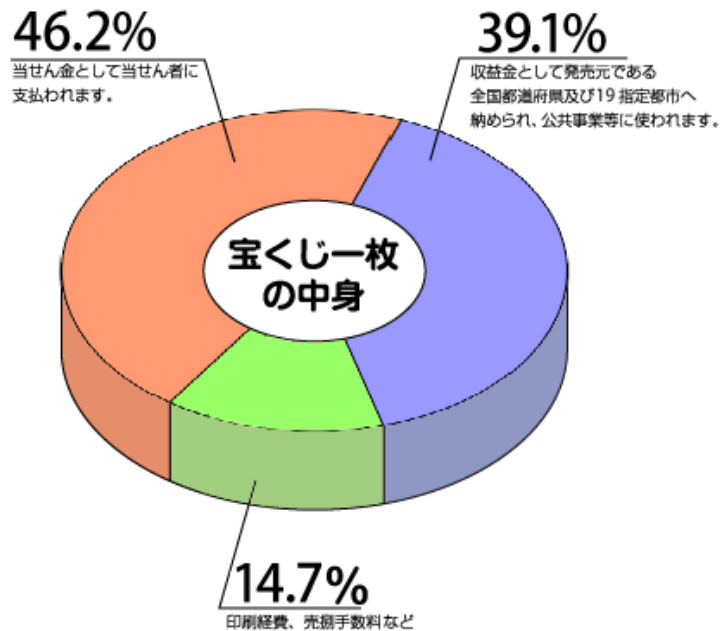
---

宝くじの収益金は地方公共団体の貴重な財源となり、教育、子育て、芸術、文化、スポーツ、生活インフラの整備等の施策に生かされております。

例えば、平成23年度の例を見ると、歩道の段差解消などのバリアフリー化、公共施設の耐震化、太陽光発電、公園の整備といったハード事業や、美術館の企画展、音楽祭の開催、図書館の充実、スポーツイベントの開催、保育サービスの充実などのソフト事業に極めて多岐にわたって活用されました。

## 宝くじ1枚の中身

宝くじ1枚の金額は、このように振り分けられています。



(平成22年度実績)



## クーちゃん

宝くじのマスコット『クーちゃん』の誕生

宝くじ発売開始 50 周年を迎えた年、宝くじのマスコット「クーちゃん」がお目見えしました。昭和 38 年に誕生した初代マスコット「ピコちゃん」に次いで 2 代目のマスコットとなった「クーちゃん」。大きな夢の案内役として、ポスターやテレビ CM などいろいろなところでみなさんにお目にかかっていますが、ここで「クーちゃん」の紹介をいたします。

「クーちゃん」は鯨の一種。でも普通の鯨と違って海はもちろん、大地を空を自由に動き回ることができるほか、人と会話をしたり歌を歌えるところが最大の特徴です。頭の上から吹き上げるしぶきは「夢」と「幸せ」をイメージ。多くの人々に「夢」と「幸せ」をお届けすることを願う「クーちゃん」の姿勢を表しています。

多くの方々にかわいがっていただき、皆さんに大きな夢をつかんでいただけるよう「クーちゃん」はがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。

性別 : 不明(どうやら男の子らしい)

年齢 : 不明

名前の由来: 「くじのクー」とも「くじらのクー」ともいわれている。鳴き方からきたという説もある

出身地 : 夢の国

- 特技 : 1)海はもちろん、大地を空を自由に動き回ることができる。  
2)人の言葉を理解できる。自分でも話せるし、歌も歌える！
- 急ぐとき…胸ビレをひろげて、ひとつ飛び！
  - ちょっと急ぐとき…尾ビレでぴょんぴょん跳んで移動
  - 急がないとき…尾ビレを使って、とことこ歩く
- 性格 : 元気(めげても、すぐ立ち直る)  
けなげ(人の役に立つのが大好き。いつも一生懸命)  
可愛い(気持がすぐに表情に出る)
- 好きなこと : 夢をみんなに紹介すること  
人と会うこと  
遊ぶこと

[平成 23 年 12 月 宝くじ活性化検討会 報告書 \(総務省へリンクします。\)](#)